

整理番号 2021M-009  
補助事業名 2021年度 ロボット産業・技術振興に関する調査研究等補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 日本機械機械工業連合会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

2015年2月に政府から「ロボット新戦略」が公表され、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが活用され、ロボットが新たな付加価値を生み出す社会の実現が提唱されている。

日本機械工業連合会は経済産業省との共催により2006年度より「ロボット大賞」表彰事業を実施してきた。2016年度・第7回ロボット大賞からは総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が新たに共催者として加わっている。

本事業は優秀事例を表彰することにより①ロボット関係者にモチベーションを与える ②ベストプラクティスの紹介によりロボット技術の普及を図る ③ロボットの社会実装の促進 ④研究開発の高度化 ⑤人材育成等を目的としており、「生活の質の向上」に資するロボットの実現を支援している。

### (2) 実施内容 (<http://www.jmf.or.jp/intro/chousa/>)

「ロボット大賞」表彰は2009年度から隔年開催としており、非表彰年度である2021年度は、ロボット大賞審査特別委員会の下部組織である審査・運営委員会（委員長・浅間 一 東京大学 教授）において、2022年度「第10回ロボット大賞」の検討及びロボット産業・技術に係る最新の社会・産業動向等の調査・分析を行った。その成果を「調査研究報告書」としてまとめ、ロボット関係者に公表した。

#### ① 2022年度「第10回ロボット大賞」実施に向けての改善

- (1) 運営改善のため実施要項、審査要領、募集要項、日程等を審議
- (2) 第10回の記念賞の検討
- (3) グローバルに向けた広報の検討

#### ② 最新のロボット市場動向・技術動向についての調査研究

調査研究の成果を「調査研究報告書」としてまとめた。ロボット関係者のニーズに応えるものとして、以下の章立てとした。

第1章では、本調査研究事業の背景と目的を明確にした。

第2章では、モノづくり分野、サービス分野、高度 ICT 分野、介護・医療健康分野、インフラ・災害対応分野、農林水産・食品分野などの市場と技術動向を取りまとめた。

第3章では、ロボットシステムインテグレータの発展と動向について調査した。

第4章では、新たな産業分野での活躍と社会課題解決の役割について調査した。  
第5章では、「World Robot Summit2020」本大会の振り返りを行い、競技会を通じた  
人材育成と社会課題解決について調査した。

第6章では、「ロボット大賞」表彰事業の概要（目的・募集対象・実績）、および  
受賞者アンケート等をまとめた。

第7章では、ロボット大賞審査・運営委員会での検討内容を踏まえて、次回「第  
10回ロボット大賞」に向けての見直し案と提言を行った。

### ③ ロボット大賞広報

2022 国際ロボット展に「第9回ロボット大賞」受賞ロボットを展示し、表彰事  
業の広報を行った。「ロボット大賞」ガイドブック：2,000部、広報リーフレッ  
ト：6,000部を配布した。

2022 国際ロボット展は、出展社 615 社、入場者数 62,388 人と、コロナ禍の中で多く  
来場者を迎え、展示会が開催された。

### ④ 受賞ロボットアンケート調査

「第9回ロボット大賞」の受賞者に受賞の効果等をアンケート調査した。

受賞13社・団体から「ロボット大賞」受賞による効果・反響があったとの回答を得  
た。具体的な効果としては、販売・導入・契約数の増加、広告効果（知名度、ブラン  
ド力向上）、研究の発展・加速などが上げられている。

アンケート結果は、ガイドブック、リーフレット、調査研究報告書などに掲載して  
広報した。

### ⑤ 調査研究報告書の発行

調査研究活動の成果を「調査研究報告書」にまとめ、200部を印刷してロボット  
関係者に配布した。また、日本機械工業連合会HPに掲載した。



ロボット大賞審査・運営委員会



2022国際ロボット展



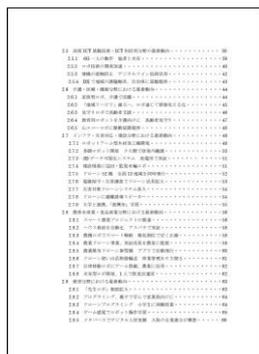
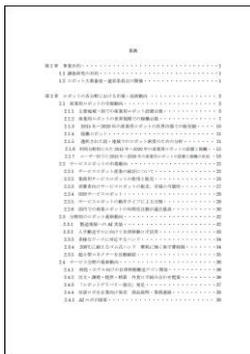
ガイドブック



リーフレット

## 「調査研究報告書」

[http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/reiwa3nendo/report\\_rob2021n.pdf](http://www.jmf.or.jp/content/files/houkokusho/reiwa3nendo/report_rob2021n.pdf)



## 2 予想される事業実施効果

- (1) 「調査研究報告書」発行により、ロボット・ロボットシステムの研究・開発・製造・利用に関わる企業、大学、研究機関などのロボット関係者に必要とされる最新の情報を提供することができる。  
また、本書を通じて「ロボット大賞」表彰事業の認知度向上に役立つことができる。

(2) 2022年度の第10回ロボット大賞実施への効果：同表彰事業の成功に向け効果的・効率的な運営に役立てることができる。

### 3 補助事業に係る成果物

- ① 2021年度 ロボット産業・技術の振興に関する調査研究報告書 200部  
<http://www.jmf.or.jp/houkokusho/2918/2929.html>
- ② 第9回ロボット大賞ガイドブック 2,000部  
[https://robotaward.jp/news/pdf/9th\\_Robot%20Award%20GB%20Ver2021.pdf](https://robotaward.jp/news/pdf/9th_Robot%20Award%20GB%20Ver2021.pdf)
- ③ 「ロボット大賞」広報リーフレット 6,000部  
[https://robotaward.jp/news/pdf/10th\\_robot\\_boshu.pdf](https://robotaward.jp/news/pdf/10th_robot_boshu.pdf)
- ④ 「第9回ロボット大賞」アンケート調査結果  
ガイドブック・P17を参照

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本機械工業連合会  
(ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

所在地： 105-0011  
東京都港区芝公園三丁目5番8号 機械振興会館5階

代表者： 会長 東原 敏昭 (ヒガシハラ トシアキ)

担当部署： DX・技術部 (デジタルトランスフォーメーション・ギジュツブ)

担当者名： 益子 龍太郎 (マシコ リュウタロウ)

電話番号： 03-3434-5383

FAX： 03-3434-6698

E-mail： [mashiko.ryutaro@jmf.or.jp](mailto:mashiko.ryutaro@jmf.or.jp)

URL： <http://www.jmf.or.jp/>